



植栽計画 創出型の植栽+既存樹の保全・再生を行います

基盤

東エリア：保全・再生型の植栽

既存樹を保全し、適切に管理します

- ・既存の樹林を保全+間伐等による管理
⇒健全な状態へ再生
- ・将来的に目指す樹高ラインを定め維持管理

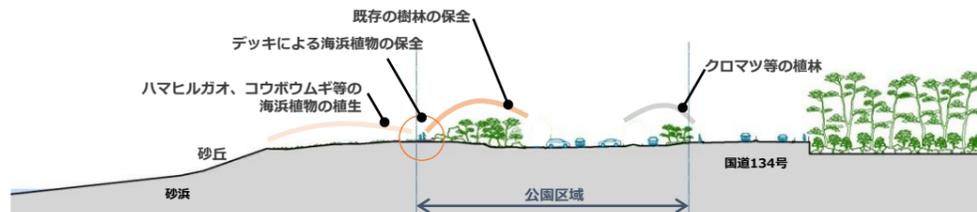
西エリア：創出型の植栽

プール跡地は新たな植栽を行います

- ・周辺と一体で複層的・階層的な植栽を形成
⇒防風・防砂機能を有する環境育成

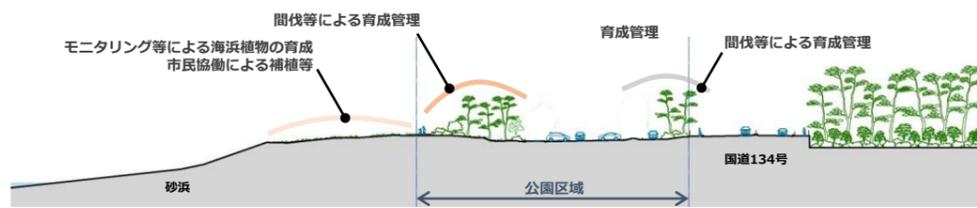
初期整備段階

- 海側の既存の樹林地を保全しながら、公園全体として複層的に樹林地を形成。
- 砂浜は海岸管理者との協議のもと海浜植物の植栽を実施。



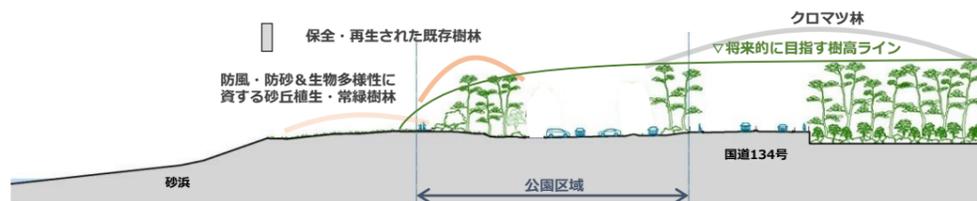
10~15年後

- 内陸のクロマツ林とあわせて、適正な間伐等を行い、育成管理を実施。
- 砂浜の植栽については、継続的なモニタリングを実施。



将来的な目標像

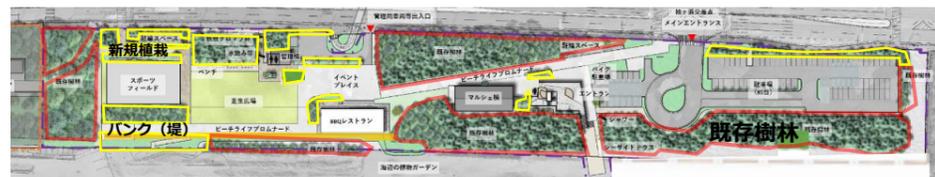
- 国道134号の北側樹林と一体となった大きな樹林帯を形成。
- 海側は海浜植生と常緑樹により東西方向の連続性を確保。



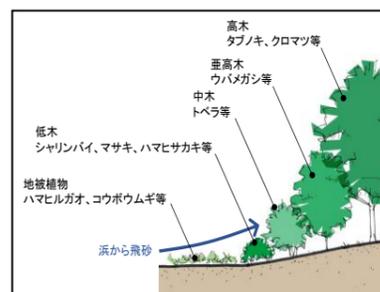
保存・再生型の植栽計画

飛砂対策 環境・生態系に配慮しながら、様々な工夫で飛砂を防ぎます

基盤



- ①既存樹林を東西に連続して保全（環境・生態系にも配慮）
- ②西エリアの海側にバンク（堤）を形成
- ③階層的な植生構造を構築
- ④海浜部の海浜植生の保全・育成方法を検討
- ⑤国道134号沿いを中心に新規植栽を行う ※黄色で囲いをした箇所が主な新規植栽です



階層的な植生

維持管理 生物多様性に配慮し、地域とともに公園を育てていきます

きっかけ

①生物多様性に配慮した植栽・植生の保全と育成

- ・専門家と連携した海浜植生群落維持
- ・既存樹林の間引き間伐による健全化
- ・樹木医による巡回点検



公園サポーター

②海岸部の特性を踏まえた維持管理

- ・日常的な点検と予防保全の推進

③地域とともに公園を育てる維持管理

- ・公園管理に参加する公園サポーターを募集
- ・植生を活かした環境教育プログラム



環境教育プログラム

専門家と連携した管理

津波・高潮対策 津波避難施設を整備します

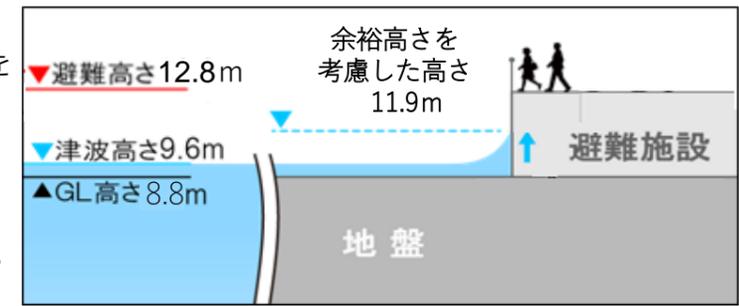
基盤

●高潮対策について

- ・公園全体の地盤高を高潮の県防護水準6.5mを上回る8.0m以上に設定しています。

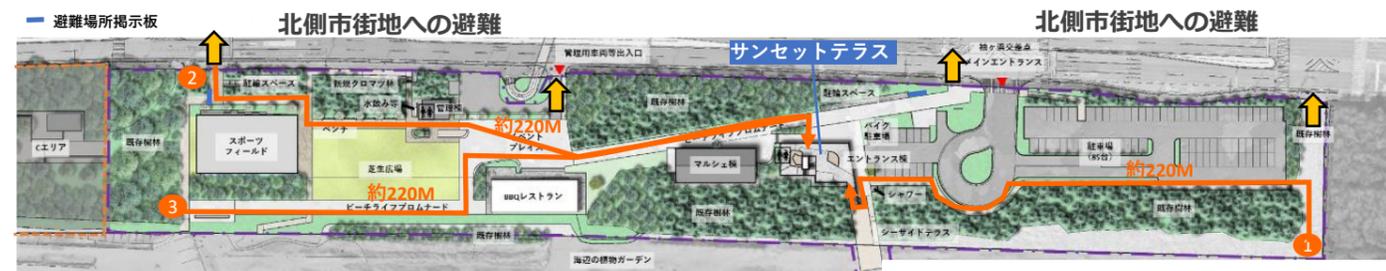
●津波避難施設の概要

- ・構造は耐久性に有利なRC造とし、高さは最大津波高さ9.6mを考慮した海拔12.8mで設定。ピーク時の来園者約665人の収容が可能です。



避難施設の高さ

●津波発生時のオペレーション



- ・津波の際は、北側市街地への避難を基本とし逃げ遅れる人を避難施設に誘導するオペレーションとします。

- ・公園のどこからでも5分以内で避難可能な位置に計画しています。

運営 4つのステップに基づき、多様なイベントを開催します

きっかけ

〈イベント開催の考え方〉

- ・“海岸エリア全体の魅力アップ”を目標に多様なイベントを実施します。
- ・事業者・テナントを中心に地元住民、地域事業者、テナント、他公園と調整を図りながら企画・実行します。

知ってもらう



初日の出撮影会

何度も来なくなる



平塚朝市

愛着が生まれる



フラダンスフェス

平塚市が好きになる



ビーチ清掃会



SUPイベント



パラスポーツフェス



ハマヒルガオ撮影会



防災訓練イベント

〈主な施設の営業時間〉

- ・駐車場 有料
- タリー東側第一 5時~23時
- タリー西側第二 24時間
- ・BBQレストラン 10時~21時
- ・マルシェ 10時~19時
- ・コンビニエンスストア 24時間

〈BBQレストランについて〉

- ・レストランとカフェとしても利用できる運営形態とします。建物内での営業とし、ごみや臭いの対策が強化できます。

〈コンビニエンスストアについて〉

- ・エントランス棟内のコンビニエンスストアの看板は景観を考慮して落ち着いた色合いとします。

今後のスケジュール

